

科目名 (英)	鍼灸診察学Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	
	Acupuncture moxibustion medical examinationⅠ	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1	開講区分	後期
学科・コース	鍼灸科					曜日・時限	
【授業の学習内容】							
総合的診察(プライマリケア)を理解し、はりきゅう臨床の適否のベースとなる病態把握についての考え方を学習する。 画像診断の種類、基礎的知識、物理療法の種類、基礎的知識について学習する。							
前田 実務実績 付属治療院での診察から治療までの業務に従事 各種スポーツのトレーナー活動 医療系専門学校にて教鞭をとる。							
資 格 はり師・きゅう師、JRFUセーフティアシスタント							
【到達目標】							
＜具体的な目標＞							
①総合診察の意義を説明できる。							
②病態把握をするためのプロセスを理解する。							
③病態把握からはりきゅう施術の適否を判断することができる。							
④医療画像の読影力を身につける。							
⑤物理療法について説明できる。							

授業計画・内容	
1回目	総合的診察(プライマリケア)の概要を理解する。地域医療の一端を担う医療職種としてすべきことを説明できる。
2回目	診療の流れと病態把握のプロセスを理解する。疾患への治療の適否を説明できる。
3回目	診療の場面で必要とされるコミュニケーションについて説明できる。
4回目	物理療法とそれを用いたリハビリテーションの概要を説明できる。
5回目	画像診断の概要を説明できる。
6回目	画像診断(頭部～頸部)を理解し、画像を用いた組織の判別トレーニングを行う。
7回目	画像診断(四肢)を理解し、画像を用いた組織の判別トレーニングを行う。
8回目	症例問題(頭部～四肢)を用いて鑑別を行うことができる。
9回目	画像診断(体幹部①)を理解し、画像を用いた組織の判別トレーニングを行う。
10回目	画像診断(体幹部②)を理解し、画像を用いた組織の判別トレーニングを行う。
11回目	画像診断(その他)を理解し、画像を用いた組織の判別トレーニングを行う。
12回目	症例問題②(体幹部)を用いて鑑別を行うことができる。
13回目	症例問題を用いてケースカンファレンスを行う(①)。
14回目	症例問題を用いてケースカンファレンスを行う(②)。
15回目	これからの総合診療を考える。
準備学習 時間外学習	(目標①)前提:この授業を受けるには、主に解剖学(筋、骨、関節、神経など)と臨床医学各論の知識が必要。 (目標②)学習は復習を中心に行うこと。授業当日と次回の授業の前日に振り返りを行い、理解できていないことを把握し早めに対処すること。 (目標③)授業中に説明した内容をメモしておき、相互の繋がりや大事なポイントを中心に押さえる。
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 教科書:ずっと使える!鍼灸臨床BOOK(滋慶出版/つちや書房)、鍼灸療法技術ガイド(文光堂) 参考書:解剖学(医歯薬出版株式会社) 臨床医学各論(医歯薬出版株式会社) 臨床医学総論(医歯薬出版株式会社)	